

令和元年度 指定管理業務 事業評価書

| | | | | | |
|--------|--|--|-------------------------------------|--|--|
| 施設名 | 昭和放課後児童クラブ | | | | |
| 施設担当課名 | 子育て支援課 | | | | |
| 指定管理者名 | NPO法人キッズパレット | | | | |
| 指定期間 | 平成31年4月1日～令和3年3月31日（2年間のうち1年目） | | | | |
| 利用料金制 | <input type="checkbox"/> 導入 <input checked="" type="checkbox"/> 一部導入 <input type="checkbox"/> なし | | ※「一部導入」は利用料金制を導入しているが指定管理料を支出している施設 | | |

1 施設の概要

| | |
|----------|--|
| 施設の所在地 | 袖ヶ浦市坂戸市場1431番地 |
| 施設の設置目的 | 保護者の就労等により昼間保育に欠ける児童に対し、適切な遊び及び生活の場を与えて、その健全な育成を図ることを目的とする。 |
| 指定管理業務内容 | (1) 放課後児童健全育成事業の実施に関し必要な業務 (2) 施設管理全般に関する業務 (3) 施設及び設備に関する業務 |

2 利用状況

| 項目 | 今年度 計画値 | 今年度 実績値 | 対計画比 (%又は増減) | 前年度 実績値 | 対前年度比 (%又は増減) |
|--------------|------------|------------|-----------------|------------|------------------|
| 開館日数(日) | 290 | 288 | 99.3% | — | — |
| 施設利用者数(人) | 19,140 | 12,341 | 64.5% | — | — |
| 貸室(設備)稼働率(%) | — | — | — | — | — |
| 事業開催数 | 0 | 0 | 0.0% | — | — |

3 施設の経営状況

(単位：千円)

| 項目 | 今年度 計画値 | 今年度 実績値 | 対計画比 (%又は増減) | 前年度 実績値 | 対前年度比 (%又は増減) |
|----------------|------------|------------|-----------------|------------|------------------|
| 指定管理料 | 6,949 | 7,628 | 109.8% | — | — |
| 利用者当たり管理コスト | 0.95 | 1.53 | 160.9% | — | — |
| 利用者当たり自治体負担コスト | 0.36 | 0.62 | 170.2% | — | — |

[評価結果]

| 評価項目 | 評価基準 | 自己評価 | 担当課評価 |
|--------------------------|---|-------------|-------|
| I 履行の確認 | | | |
| 1 施設全般の管理運営に関する業務 | | | |
| (1) 職員配置 | 基準に基づき、適切な人員配置がされたか | A | A |
| (2) 職員研修 | 業務に必要な研修・教育が適切に行われたか | A | A |
| (3) 利用促進業務 | 利用者拡大のための利用促進業務が適切に行われたか | B | A |
| 2 利用者に関する業務 | | | |
| (1) 利用状況 | 利用者数・稼働率等は、適切な水準であるか | B | A |
| (2) 利用[使用]料金 | 利用料金の設定、利用[使用]料金の徴収・減免・還付の手続きは適切であるか | B | A |
| 3 保守点検並びに清掃等業務等 | | | |
| (1) 保守点検業務 | 基準に基づき、保守点検が適切に行われたか | A | A |
| (2) 清掃業務・維持管理業務 | 基準に基づき、清掃業務・維持管理が適切に行われたか | B | A |
| (3) 保安・警備業務 | 基準に基づき、保安・警備業務が適切に行われたか | B | A |
| (4) 修繕業務 | 基準に基づき、修繕業務が適切に行われたか | A | A |
| 4 事業の実施に関する業務 | | | |
| (1) 指定事業 | 基準に基づく事業が適切に行われたか | B | A |
| (2) 自主事業 | 施設の目的に沿った自主事業が適切に行われたか | - | - |
| 5 個人情報の取扱 | 個人情報の取扱いが適正に行われたか | A | A |
| I の総括 | 当該施設評価項目数 《標準評価項目数 12 個》 | <u>11</u> 個 | B A |
| * 指定管理者の自己評価 | 9月、10月の台風による一日ずつの閉所及び3月以降の新型コロナウイルスの学校休校による一日保育への切替実施等と、特別な事象に対しても適切に対応したほか、当初計画に従った学童保育の事業実施及び指定管理事業者としての事業を適正に実施した。 | | |
| * 施設担当課の評価 | 計画に基づいた適正な事業の提供をした他、台風災害や新型コロナウイルスによる臨時休校への対応も迅速かつ適切に実施し、保育の質の向上や安全管理、施設の適正な維持管理等に努め運営されている。 | | |

| II サービスの質の評価 | | | |
|---------------------------|---|-----------|----------|
| 1 利用者満足度 | 利用者アンケートを実施し、その結果は妥当であるか | B | B |
| 2 維持管理業務 (清掃、備品等の維持管理) | 日常清掃業務や衛生管理は適正であるか 備品などの設備の維持管理は適正であるか | B | A |
| 3 運営業務 (貸出状況、接客対応等) | 備品の貸出状況や消耗品等の補充状況は適切であるか 利用許可など利用者への接客対応は適切であるか | A | A |
| 4 指定・自主事業(事業内容の質) | 実施された事業内容は、質の高いものであったか | A | A |
| II の総括 | 当該施設評価項目数 《標準評価項目数4個》 | 4個 | A |
| * 指定管理者の自己評価 | 生活リズムの定着に向けた取り組み、学校施設を活用した仲間づくり、保護者会と連携した活動など、幅広く考える学童保育を中心にサービスの質の向上に努めた。 特に台風15号による4日間の炊き出しによる昼食の提供、新型コロナウイルスの休校対応として一日保育への切り替えなど、特別な事象に対しても臨機応変に適切に対応できる学童保育として、保護者からも高い評価を得たほか、児童保護者とも良好なコミュニケーションを築くことができた。 | | |
| * 施設担当課の評価 | 全ての項目に対して適正に行われていた。行事等についても、子どものニーズに合うものを取り入れ業務を遂行することには大変評価できる。また、台風災害や新型コロナウイルスによる臨時休校への対応も、適切かつ保護者負担にも配慮したものであった。 | | |

| 総合評価 | | I・II を合わせた総合評価 | |
|---------------------|-------|--|-------|
| | | 自己評価 | 担当課評価 |
| | | A | A |
| 総合評価に係る 総括意見 | 指定管理者 | 初年度の学童保育として指定管理事業は、台風災害や新型コロナウイルス等、特別な事象の影響によって、一部事業を縮小せざるを得なかったが、一年を通じて、市との連携及び保護者に寄り添って閉所することなく適切に実施できたことは、高い評価として捉えている。 開所初年度であり、且つ集団の規模が大きいことから動きが取りづらい点も多かったが、可能な限り児童一人ひとりと向き合いながら、保護者の就労支援という役割を果たすことができた。 | |
| | 施設担当課 | 台風災害や新型コロナウイルスによる臨時休校への対応等、今までに例のない対応をしなければならなかったが、迅速かつ適切で、保護者や児童への配慮が行き届いていた。 また、児童数が多い中でも、児童一人ひとりと向き合い活動を実施できていた。 | |
| その他特記事項 (成果・改善等) | 指定管理者 | 新型コロナウイルスによる一日保育への切り替えは、ウイルス感染への恐怖と学童保育への協力の葛藤の中で、支援員の確保に苦慮したことが課題であった。 そうした中で、支援員の協力及び小学校との連携による教室等施設の利用は、ウイルス感染防止対策として多大な効果があった。 今後は、施設の規模と児童の定員数を考え、密にならない空間づくり、児童が落ち着いて生活できる環境づくりが検討の課題である。 さらに、秋の募集においては、新1年生の入会希望者数が予想を上回り、当クラブへの入会希望をすべて受け入れることができず、あそびっこクラブ及びひみつきちに振り分けて受け入れた。 しかし、3施設とも定員に余裕がない状況であり、次年度以降も昭和小学校区の学童への入会希望は増加が予想され、とりわけ小学校の敷地内にある当クラブへの入会希望が多いことから、施設の拡充等について改善を要することが課題となり検討をお願いしたい。 | |
| | 施設担当課 | 指定管理者が所管する他の放課後児童クラブと調整を取りつつ、登録児童を1年生中心にしたり、支援員の配置を増やしたり等工夫をし、児童数が多い中でも、児童や保護者のニーズに合わせた活動を実施できた。 また、台風災害や新型コロナウイルスによる臨時休校への対応では、特に支援員の確保に苦慮したが、保護者のニーズに対応してもらえたことができた。 今後も保護者のニーズを把握し、可能な範囲で現在のような質の高いサービスの提供に努めていただきたい。 | |

《評価区分》

| | |
|--------------|---|
| <p>①評価基準</p> | <p>A (優 良) = 協定書等の基準を遵守し、その水準よりも優れた内容である B (良 好) = 協定書等の基準を遵守し、その水準に概ね沿った内容である C (課題含) = 協定書等の基準を遵守しているが、内容の一部に課題がある D (要改善) = 協定書等の基準が遵守しておらず、改善の必要な内容である</p> |
| <p>②総 括</p> | <p>A (優 良) = 評価基準がすべてB以上であり、かつAが過半数以上である B (良 好) = 評価基準がすべてC以上であり、かつB以上が8割以上である C (課題含) = 評価基準がすべてC以上である D (要改善) = 評価基準にDが含まれている</p> |
| <p>③総合評価</p> | <p>A (優 良) = 総括がすべてB以上であり、かつAが1つ以上である B (良 好) = 総括がすべてB以上である C (課題含) = 総括がすべてC以上である D (要改善) = 評価基準にDが含まれている</p> |